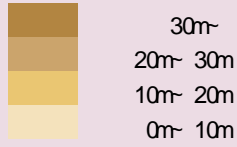


立体的に見た文京区と地域別の特徴

海拔高度



- 地域区分線
- 主なオープンスペース
- 💧 湧水地点



参考：1/10,000地形図(国土地理院)

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の地形図を使用したものです。

[承認番号:平12関使 第23号]

都心地域

緑被率は他の地域と比べて低いものの、小石川後楽園などのまとまった緑や、本区で一番太い巨木(クスノキ)があります。また、神田川が地域の南端に沿って流れており、周囲に水辺のうるおいある空間をもたらしています。

緑被率:ある敷地の中における樹木や草によって覆われている面積の割合を示したもの。

下町隣接地域

昔ながらの下町の家並みが所々に見られます。東京大学が地域の半分ちかくを占めているほか、根津神社、須藤公園などがあります。春は根津神社のツツジや須藤公園のフジ、秋は東大のイチョウ並木など季節ごとに美しい景観が見られます。

山の手地域東部

六義園・小石川植物園などの大規模な公園・緑地があり、住宅の敷地内にも緑が多く見られるなど、比較的緑の豊かな地域です。ツバメのエサとなる昆虫などが多いためか、今回の調査では、ツバメの巣が比較的多く確認できました。

山の手地域中央部

豊島岡墓地、護国寺、教育の森公園など、規模の大きい緑地や公園が集まっています。また、播磨坂の桜並木は美しく、多くの人々に親しまれています。

山の手地域西部

桜並木の続く神田川沿いに江戸川公園、新江戸川公園、榎山荘などが立地し、比較的緑に恵まれています。水辺が多いためか、今回の調査では、ヒキガエルの産卵場所やアブラコウモリの飛んでいる姿が比較的多く見られました。